

目次

ご注意	1
使用上の注意事項	2
目次	12
第1章 はじめに	13
1.1 マニュアルについて	13
1.2 製品の特長	13
1.3 装置の構成	14
第2章 操作部、および表示部	15
2.1 VF200F7-S前面図	15
2.2 VF200F7-S背面図	16
2.3 インラインフィルタ外観図	17
第3章 設置、および接続の方法	18
3.1 設置	18
3.1.1 環境条件	18
3.1.2 設置場所	18
3.1.3 設置方法	19
3.2 ケーブルの接続	22
3.2.1 本製品のみを接続する場合	22
3.2.2 アナログ電話機またはI SDN用DSU内蔵TAと同時に接続する場合	23
3.2.3 AC電源アダプタの接続、およびAC100Vの供給	25
第4章 仕様	26
4.1 VF200F7-S仕様	26
4.2 インラインフィルタ仕様	26
第5章 注意事項	28
5.1 電源の再投入について	28
5.2 装置の設置について	28
5.3 長期保管について	28
第6章 トラブルシューティング	29
6.1 表示ランプの状態によるチェックポイント	29
6.2 電話機の状態によるチェックポイント	30
お問い合わせ先	31

第1章 はじめに

ユーザーズマニュアルの使い方と本製品の概要について説明します。ご使用になる前に必ずお読みください。

1.1 マニュアルについて

本マニュアルでは、VF200F7-S の機能、および取扱方法について説明します。本マニュアルは、以下の章で構成されています。

- ・第1章「はじめに」では、マニュアルの内容と本製品の特長について説明します。
- ・第2章「操作部、および表示部」では、操作部と表示部について説明します。
- ・第3章「設置、および接続の方法」では、本製品の設置方法、およびケーブル類の接続方法について説明します。
- ・第4章「仕様」では、本製品の機能概要について説明します。
- ・第5章「注意事項」では、本製品取扱上の注意点について説明します。
- ・第6章「トラブルシューティング」では、トラブルが発生した時の対処について説明します。

1.2 製品の特長

- ・コンパクトなデザイン
軽量かつコンパクトなサイズを実現しました。
外形寸法：約30mm(W)×110mm(D)×160mm(H) (突起物を含まず)
質量：250g 以下 (本体のみ)
- ・メタリック線を使って、下り最大100Mbps、上り最大100Mbps の対称伝送を実現します。
- ・メタリック線を使用するため既存回線の活用や新規工事も簡単です。
- ・わかりやすいLED 表示で本製品の状態を確認することが可能です。
(電源状態、通信状態、故障状態他)
- ・自己診断機能機能を具備しています。
(自己診断機能は電源起動時に実行されます)
- ・VDSL コンセントレータ側からの制御による VF200F7-S の折り返し試験機能を具備しています。
- ・VDSL コンセントレータ側へ LAN インタフェースのリンク状態を通知する機能を具備しています。

1.3 装置の構成

本製品の構成を以下に示します。品物が前っているか、破損していないかを確認してください。万、品物が不足している場合や破損している場合は、お買求めの販売店または担当のサービスセンタに御連絡ください。

構成部品一覧

構成部品名	数量
VF200F7-S	1台
モジュラケーブル (2m)	1本
モジュラケーブル (20cm) (インラインフィルタに同梱)	1本
UTPケーブル (ストレート) (2m)	1本
AC電源アダプタ	1個
縦置き台	1個
インラインフィルタ本体	1個
壁掛け設置用ネジ	2個
2分岐モジュラジャック	1個
VF200F7-S ユーザズマニュアル (取扱説明書)	1部

第2章 操作部、および表示部

2.1 VF200F7-S前面図

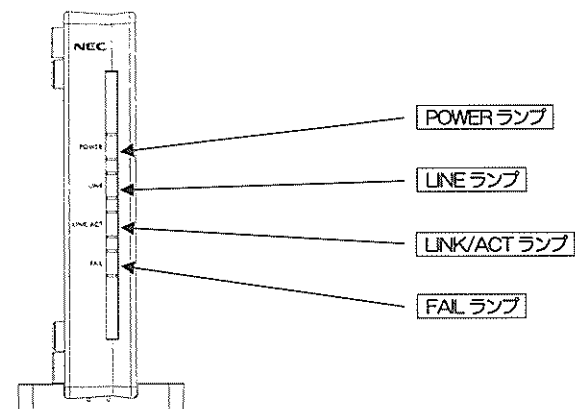


図 1 前面図

■VF200F7-S本体前面各部の名称、および働きを説明します。

ランプ名称	色	点灯/点滅/消灯	状態
POWER ランプ	緑	点灯 消灯	電源が投入されています。 電源が切れています。
LINE ランプ 【注】	緑	点灯 点滅 消灯	VDSL LINE のリンクが確立しています。 VDSL LINE がトレーニング中です。 VDSL LINE の接続動作停止中、または本製品故障です。
LINK/ACT ランプ	緑	点灯 点滅 消灯	LAN インタフェースのリンクが確立しています。 LAN インタフェースでデータの送受信をしています。 LAN インタフェースのリンクが確立していません。
FAIL ランプ	赤	点灯 消灯	自己診断試験中の異常、または本製品動作中の異常を検出しました。 通常動作中です。

【注】LINE ランプが30秒間以上継続して消灯する場合は、本製品が故障しています。

2.2 VF200F7-S背面図

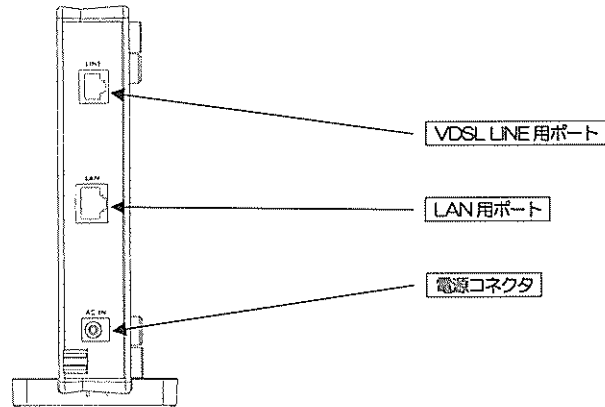


図 2 背面図

■VF200F7-S本体背面各部の名称、および働きを説明します。

名 称	表 示	機能説明	備 考
VDSL LINE 用 ポート	LINE	VDSL 回線と接続するためのポートです。	6ピンモジュラジャック (RJ-11)
LAN 用ポート 【注】	LAN	UTP ストレートケーブル(カテゴリ5以上) でパソコン等と接続するためのポートです。	8ピンモジュラジャック (Auto-Negotiation ON 設定時: Auto MDI, Auto-Negotiation OFF 設定時: MDI-X) (RJ-45)
電源コネクタ	AC IN	添付の AC 電源アダプタを接続します。	添付の AC 電源アダプタ 以外は接続しないでくだ さい。

【注】本製品から LAN インタフェースの設定変更は出来ません。LAN インタフェースの設定変更は、集合装置が「VC1622F」「および VC803F」の場合のみ可能です。
LAN インタフェースのデフォルト設定は Auto-Negotiation ON です。

2.3 インラインフィルタ外観図



図 3 インラインフィルタ

■インラインフィルタ各部の名称、および働きを説明します。

名 称	表 示	機能説明	備 考
LINE ポート	LINE	VDSL 回線と接続するためのポートです。	6ピンモジュラジャック (RJ-11)
TEL ポート	TEL	アナログ電話機または ISDN 用 DSU と接続 するためのポートです。	6ピンモジュラジャック (RJ-11)

【注 意】接続するポートを間違えると電話を使用することができません。

第3章 設置、および接続の方法

3.1 設置

3.1.1 環境条件

温度：0～40℃

湿度：5～80%（非結露）

3.1.2 設置場所

設置はVF200F7-Sの動作に影響を及ぼすおそれがある場所を避けて、適切な場所を選んでください。

⚠ 注意



本製品は以下の場所に設置しないでください。本来の性能を発揮できなかったり機能停止をまねく恐れがあります。

- ・水や薬品等液体のかかるところ
- ・ほこりや塵の入るところ
- ・温度・湿度環境が不適切なところ
- ・通気性の悪いところ
- ・無線機やテレビなど電磁波や磁気の影響を受けるところ
- ・不安定なところ
- ・本製品の周囲に10cm以上の空間がないところ

3.1.3 設置方法

本製品の設置方法には、縦置き卓上設置、横置き卓上設置、壁掛け設置があります。縦置き卓上設置で使用する場合は＜縦置き台の取付け手順＞を参考にして縦置き台を取り付けてください

■ 縦置き卓上設置

縦置き卓上設置は、本体に縦置き台を取付けた状態で本製品をテーブル等の安定した場所に設置する方法です。図4に縦置き卓上設置例を示します。

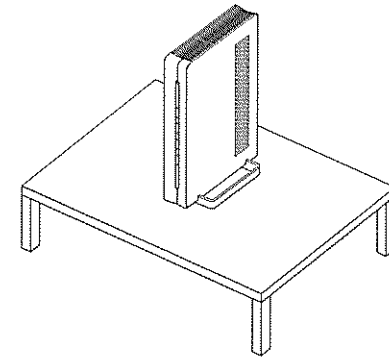


図4 縦置き卓上設置

＜縦置き台の取付け手順＞

縦置き台の突起部付近に「前」と表示された方を本製品の前面側にして、縦置き台の突起部と本体の縦置き台取付けが合うように縦置き台を取り付けます。

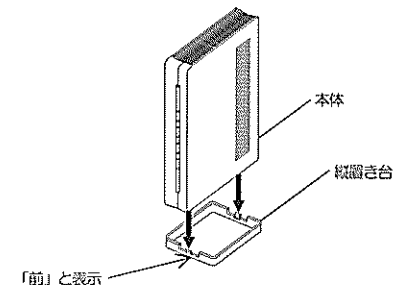


図5 縦置き台の取付け

<縦置き台の取外し手順>

縦置き台を固定して、本体を上方向に持ち上げて本製品から縦置き台を取外します。

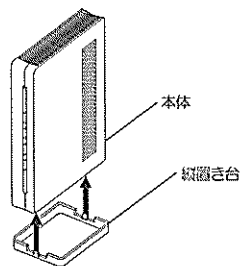


図 6 縦置き台の取外し

■ 横置き卓上設置

横置き卓上設置は、本製品をテーブル等の安定した場所に設置する方法です。図 7 に横置き卓上設置例を示します。

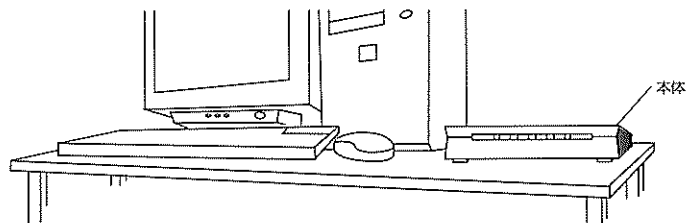


図 7 横置き卓上設置

■ 壁掛け設置

壁掛け設置は、本製品の背面が下になるように設置してください。

<手順>

1 壁面に添付の壁掛け設置用ネジ (2 本) を取り付けます。2 つのネジの間隔は図 8 のように 134mm となるように取り付けます。このときネジは最後まで締め込まないで、壁面から 3~4mm の隙間を空けて締め込みます。

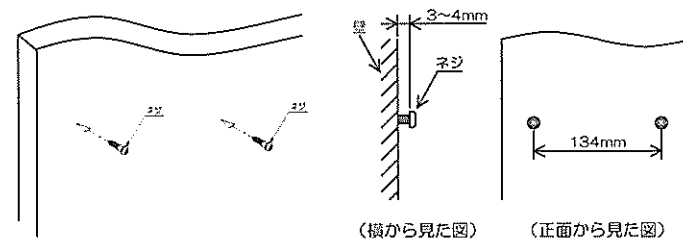


図 8 壁掛け設置用ネジの取り付け

② 壁に途中まで締め込んだネジに本製品底面にある取り付け穴をはめ込み、上側から下側に向けてスライドさせて固定させます。この時、力をかけすぎると本製品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。
壁掛け後に本製品がガタつくようでしたら、本製品を壁からはずして壁に取り付けたネジを再度締め込み本製品がガタつかないように調整してください。

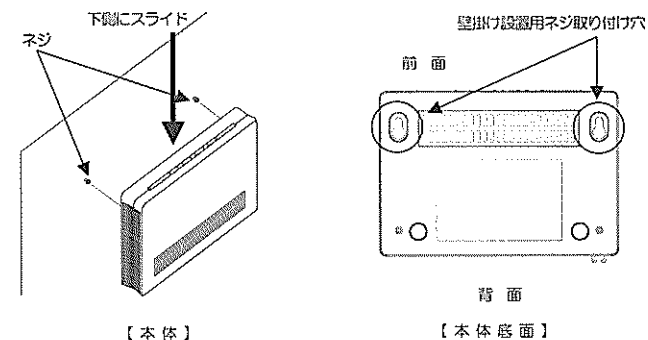


図 9 壁掛け設置

3.2 ケーブルの接続

3.2.1 本製品のみを接続する場合

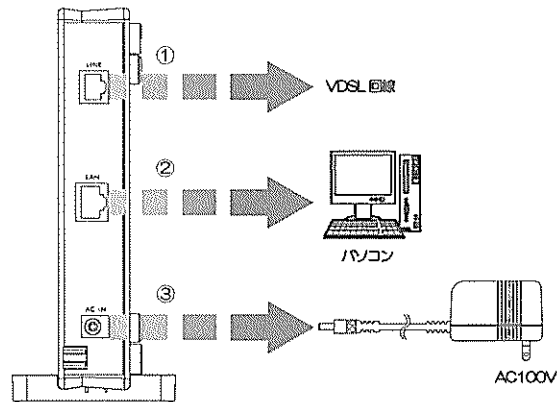


図 10 ケーブル接続イメージ

■ 使用ケーブル

接続に使用するケーブルは下記のとおりです。

- ①VDSL LINE 用 : モジュラケーブル (2m) (添付品)
- ②LAN 用 : UTP ケーブル (ストレート 2m) (添付品)
- ③電源用 : AC 電源アダプタ (添付品)

3.2.2 アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA と同時に接続する場合

一つのモジュラジャックから VDSL 回線と電話回線 (アナログまたは ISDN) を同時に使用する場合は、下図のように 2 分岐モジュラジャックを使用し、本製品とアナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA を接続してください。

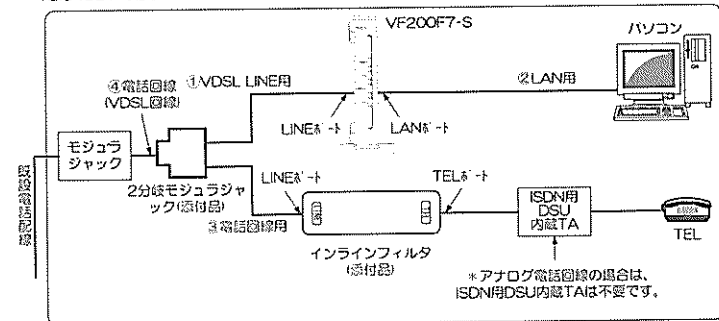


図 11 アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA と同時に使用する場合 (接続例 1)

VDSL 回線と電話回線 (アナログまたは ISDN) を同一回線上の異なるモジュラジャックに接続して同時に使用する場合は、下図のように各々のモジュラジャックと本製品、およびアナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA を接続してください。

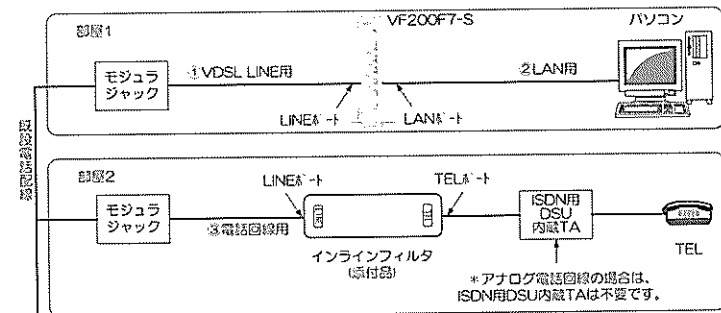


図 12 アナログ電話機または ISDN 用 DSU 内蔵 TA と同時に使用する場合 (接続例 2)

■ 使用ケーブル

接続に使用するケーブルは下記のとおりです。

- ①VDSL LINE 用 : モジュラケーブル (2m) (添付品)
- ②LAN 用 : UTP ケーブル (ストレート 2m) (添付品)
- ③電話回線用 : モジュラケーブル (20cm)
(添付品 : インラインフィルタに同梱)
- ④電話回線用 : モジュラケーブル (20cm)
(VDSL 回線) (添付品 : 2 分岐モジュラジャックに接続済み)

3.2.3 AC電源アダプタの接続、およびAC100Vの供給

本製品への給電は本体電源コネクタに添付のAC電源アダプタを接続してAC電源アダプタをAC100Vコンセントに接続します。また、本製品背面の電源ケーブル固定用フックを用いて電源ケーブルを図13のように本製品に固定してください。

⚠ 注意



AC100V電源接続時は、必ず添付のAC電源アダプタを使用してください。故障の原因となりますので、添付のAC電源アダプタは本製品以外には使用しないでください。

また、AC電源アダプタをAC100Vコンセントに長い間差し込んだままにしておくと、AC電源アダプタやAC100Vコンセントの絶縁物の表面にほこりや水分が付着して導電路が形成され、絶縁物が劣化して火災に至る原因となることがあります（トラッキング現象）。

AC100Vコンセントの周りにほこりをためないように清掃したり、AC電源アダプタがしっかりと差し込まれているかときどき確かめてください。

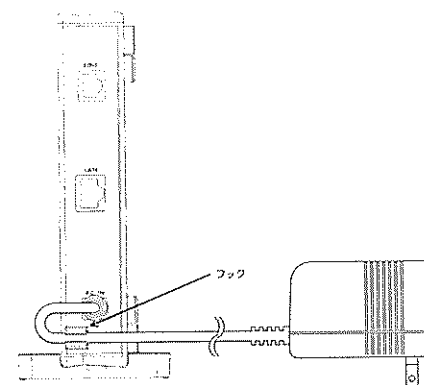


図 13 電源ケーブルの固定

第4章 仕様

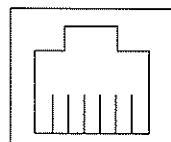
4.1 VF200F7-S仕様

項目	仕様
VDSL LINE インタフェース	VDSL
伝送線路	2W メタリックケーブル
変調/多重方式	DMT 変調/FDD 方式
コネクタ形状	RJ-11 注1)
通信速度	下り最大 100Mbps、上り最大 100Mbps 対称伝送
LAN インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3) 注2)
コネクタ形状	RJ-45 注3)
動作環境	温度条件 0~40℃ 湿度条件 5~80% (非結露)
使用電源定格	AC100±10V 50/60Hz AC電源アダプタ
消費電力	10W以下
電磁波規格	VCCI-クラスB
外形寸法	約30(W)×110(D)×160(H)mm (突起物を含みます)
質量	250g以下 (本体のみ)

4.2 インラインフィルタ仕様

項目	仕様
TEL インタフェース	収容回線 1 回線 コネクタ形状 RJ-11 注4)
LINE インタフェース	収容回線 1 回線 コネクタ形状 RJ-11 注4)
動作環境	温度条件 0~40℃ 湿度条件 5~80% (非結露)
外形寸法	約82(W)×26(D)×24(H)mm (突起物を含みます)
質量	35g以下 (本体のみ)

注1) VDSL LINE インタフェースピンアサイン



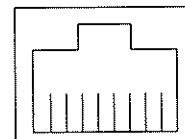
654321

VDSL LINE インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	—	—	—
2	—	—	—
3	A	I/O	送信/受信データ
4	B	I/O	送信/受信データ
5	—	—	—
6	—	—	—

注2) LAN インタフェースのデフォルト設定は Auto-Negotiation ON です。

注3) LAN インタフェースピンアサイン (MDI-X)

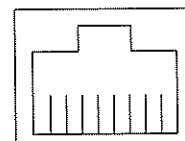


87654321

LAN インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	RX+	I	受信データ+
2	RX-	I	受信データ-
3	TX+	O	送信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	TX-	O	送信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

LAN インタフェースピンアサイン (MDI)

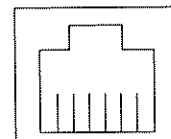


87654321

LAN インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	TX+	O	送信データ+
2	TX-	O	送信データ-
3	RX+	I	受信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	RX-	I	受信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

注4) TEL、およびLINE インタフェースピンアサイン



654321

TEL インタフェースピンアサイン

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	—	—	—
2	—	—	—
3	L2	I/O	送信/受信データ
4	L1	I/O	送信/受信データ
5	—	—	—
6	—	—	—

第5章 注意事項

5.1 電源の再投入について

電源投入後、何らかの理由により電源断とし、再び電源を投入する場合は、再投入まで5秒以上の間隔を空けてください。間隔を空けずに電源を投入された場合、本製品が誤動作する可能性があります。

5.2 装置の設置について

 注意	本製品の上面や側面等に物を置いたり、積み重ねたりして密閉状態にならないように設置してください。 本製品の通気孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
--	--

5.3 長期保管について

本製品には、アルミ電解コンデンサを使用しています。アルミ電解コンデンサは、長時間通電せずに保管すると性能が低下します。長時間ご使用にならない場合でも、安定してご使用いただくために1年に2時間程度は、電源を投入し通電してください。

第6章 トラブルシューティング

この章では、VF200F7-S の運用管理上でトラブルが起きた場合の対処方法を説明します。使用中に動作がおかしい等のトラブルが発生した場合には、まず、以下の表を参照してチェックしてください。

なお、トラブルが解消されない場合は、お問い合わせの販売店または担当のサービスセンタにお問い合わせください。

6.1 表示ランプの状態によるチェックポイント

(1) 電源投入しても本製品前面のPOWERランプが消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
コンセントに電源がきていない。	他の電気製品を接続し、コンセントに電気がきているか確認してください。配電盤が有る場合は配電盤も確認してください。
AC電源アダプタが正しく接続されていない。	・AC電源アダプタが正しくコンセントに接続されているか確認してください。 ・AC電源アダプタが正しく本体に接続されているか確認してください。
本製品が故障している。	お問い合わせの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。

(2) FAILランプが赤色点灯している。

考えられる原因	チェックポイント
本製品に何らかの故障が発生している。	電源投入後、FAILランプが赤色点灯したままになっている場合、自己診断中または異常または本製品動作中の異常を検出しています。再度電源を投入して同じ症状がでる場合には、お問い合わせの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。

(3) LINEランプが点滅したままである。

考えられる原因	チェックポイント
VDSL LINEのリンクが確立していない。	・接続しているVDSL LINE用ケーブルは正しいか確認してください。 ・接続しているVDSL LINE用ケーブルがショート、断線などしていないか確認してください。 ・接続している装置（対向装置）は正常に動作しているか（電源は、投入されているか等）確認してください。 ・対向装置のVDSL LINEのLINKランプが点灯しているか確認してください。 ・VDSLと同時に電話をお使いの場合、電話機にインラインフィルタが正しく接続されているか確認してください。

(4) LINE ランプが30 秒間以上継続して消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
本製品が故障している。	再度電源を投入して同じ症状がでる場合には、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。

(5) LINK/ACT ランプが消灯している。

考えられる原因	チェックポイント
接続されている機器との間でリンク信号が受信されていない。	・接続しているポート (LAN 用ポート) は正しいか確認してください。 ・接続している UTP ケーブルの (ストレート/クロス) は正しいか確認してください。 ・接続している UTP ケーブルは規格 (カテゴリ 5 以上) を満足しているか、確認してください。 ・接続している UTP ケーブルがショート、断線などしていないか確認してください。 ・接続している装置は正常に動作しているか (電源は投入されているか等) 確認してください。 ・接続している機器のリンクランプは正しく点灯しているか確認してください。

6.2 電話機の状態によるチェックポイント

(1) 電話機が使用できない。

考えられる原因	チェックポイント
インラインフィルタと電話機が正しく接続されていない。	接続しているポート (LINE ポート、TEL ポート) は正しいか確認してください。

お問い合わせ先

本製品に動作がおかしい等 何らかのトラブルが発生した場合には、「第6章 トラブルシューティング」を参考にチェックしてください。

なお、トラブルが解消されない場合などのお問い合わせは、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタへお願いいたします。